

防災学習体験プログラム・視察研修プログラム

中越メモリアル回廊では複数の施設やメモリアルパークを回遊しながら、地域の語り部から被災体験を聴講したり、震災の教訓を生かしたグループワークをしたりする防災学習プログラムを実施しております。来館者のニーズに合ったプログラムを提案、実施しております。お気軽にお問い合わせください。



さまざまジャンルの語り部さんからお話が聞けます

『見る・聞く・体験する』防災学習を… 次世代防災学習支援事例



震災の概要を調べる



震災の概要を学ぶ



地震の現実を知る(語り部講話)



被災地現地で学ぶ



地震の怖さを体感する



地震の現実を知る(紙芝居)



地震のメカニズムを学ぶ



地震の基礎を学ぶ

全国からいただいたご支援に感謝をこめて



語り部講話



防災グループワーク

経験を伝える… 地域防災力強化支援事例



被災地現地視察



スタッフによる館内案内

次の被災地へ経験を伝える… 被災地復興支援



東北被災地の支援団体研修



東北被災地からの視察受け入れ

教訓を伝える取り組み



- ・実話に基づく紙芝居の上演
- ・ガイドブックの販売
- ・バス同乗ガイド派遣
- ・語り部・講師派遣



震災格言風呂敷や防災グッズなどの企画・販売

中越メモリアル回廊全体図

妙見メモリアルパーク

Myoken Earthquake Memorial Park

おぢや震災ミュージアムそなえ館

Ojiya Earthquake Disaster Museum

震央メモリアルパーク

The Epicenter of the CHU-ETSU Earthquake Memorial Park

長岡震災アーカイブセンター きおくみらい

Nagaoka Earthquake Disaster Archive Center

やまこし復興交流館 おらたる

Yamakoshi Restoration Center

木籠メモリアルパーク

Kogomo Earthquake Memorial Park

川口きずな館

The KIZUNA Center in Kawaguchi

やまこし復興交流館
おらたる

〒947-0204 新潟県長岡市山古志竹沢甲2835
山古志会館内
TEL0258-41-1203 FAX0258-41-1204
E-mail: orataru@cosss.jp
営業時間/9:00~17:00 休館日/毎週火曜日・年末年始

アクセス：関越自動車道長岡南越路スマートIC～約17km 約30分

長岡震災アーカイブセンター
きおくみらい

〒940-0062 新潟県長岡市大手通2-6
フェニックス大手イースト2階
TEL0258-39-5525 FAX0258-39-5526
E-mail: kiokumirai@cosss.jp
営業時間/10:00~18:00 休館日/毎週火曜日・年末年始

アクセス：関越自動車道長岡IC～約7km 約20分

おぢや震災ミュージアム
そなえ館

〒947-0026 新潟県小千谷市上ノ山4-4-2
小千谷市民学習センター「家集館」2階
TEL 0258-89-7480 FAX 0258-89-7485
E-mail: sonae@cosss.jp
営業時間/9:00~17:00 休館日/毎週水曜日・年末年始

アクセス：関越自動車道小千谷IC～約3km 約5分

川口きずな館



〒949-7503 新潟県長岡市川口中山1441番地
川口運動公園内
TEL 0258-89-3620 FAX 0258-89-3621
E-mail: kawaguchi-info@cosss.jp
営業時間/10:00~17:00 休館日/毎週火曜日・年末年始

アクセス：関越自動車道越後川口IC～約6km 約12分

妙見メモリアルパーク



新潟県小千谷市浦納地先
アクセス：関越自動車道小千谷IC～約6km 約10分

震央メモリアルパーク



新潟県長岡市川口武道窪地先
アクセス：関越自動車道越後川口IC～約8km 約15分

木籠メモリアルパーク



新潟県長岡市山古志木籠地先
アクセス：関越自動車道長岡南越路スマートIC～約21km 約30分

中越メモリアル回廊

The CHU-ETSU Earthquake Memorial Corridor

平成16年10月23日に発生した新潟県中越大地震のメモリアル拠点である4施設3メモリアルパークを結ぶ中越メモリアル回廊。メモリアル拠点を巡り、震災の記憶と記録にふれることで「新潟県中越大地震」の巨大な実像が浮き彫りになります。そこには震災から生まれた幾重もの物語があり、復興の軌跡が残されています。中越メモリアル回廊は、次世代を担う子どもたちや地域防災を担う人々へそして未来へ、さまざまな情報を発信し続けます。



長岡震災アーカイブセンター きおくみらい

「中越メモリアル回廊」の中核であり、ゲートウェイとなる「きおくみらい」は、震災の「教訓」や「知見」を蓄積・発信する拠点施設。震災の記録と記憶だけでなく、復興の足跡や防災・減災についての資料など様々な情報が入手できます。

●総合学習・防災学習のステージ
80人収容できる多目的ホールを活用して小学校・中学校の防災学習や総合的な防災学習を支援



●自主防災組織の研修



●被災地復興支援視察



館内床一面に広がる被災地航空写真



情報携帯端末を使って地域の情報検索



記録映画を鑑賞できるシアター



多目的ホール



●セミナー・シンポジウムの開催



●調査・研究のお手伝い
視察プログラム企画提案

おぢや震災ミュージアム そなえ館

直下型、震度7の地震に襲われた市民が語る体験談と教訓とは。そなえ館は 新潟県中越大地震の記録と記憶を伝承し、震災体験からの教訓を活かし、イザという時の「そなえ」を学ぶ防災学習拠点施設です。一般の方をはじめ、町内会、自主防災組織、民生・児童委員のみなさまの視察や研修、小中学校の総合学習などにご活用いただいています。

受付で自動解説端末、「タッチスコープ」を無料貸し出し！



タッチスコープでゾーン解説や震災の体験談を視聴できます。さらに防災学習クイズそなえチャレンジ！に挑戦できます。



防災クイズチャレンジ後は修了証を発行



① 発災シアター

CGで再現した地震発生の様子を視聴



② 3時間後の部屋

震災被害の様子



③ 3日後の部屋

避難生活の様子



⑥ 地震動シミュレータ

地震擬似体験



⑤ 3年後の部屋

復旧から復興へ



④ 3ヶ月後の部屋

仮設住宅生活～復旧へ

さあ 楽しく学んで そ・な・えましょ！



川口きずな館



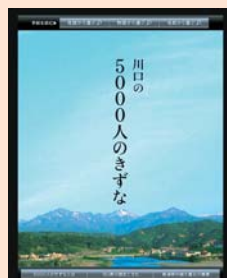
被災を通じて育まれた「絆」にふれることで、新たな交流を紡ぎ広げる地域活性化拠点。

地域に開かれた活動の舞台。川口きずな館では、川口地区（旧川口町）の皆さんと共に、活動の幅を日々広げています。もっと住みやすく、暮らしやすく、誇りある川口であり続けるために。ちょっと真面目な議論の場にもなれば、コンサートや映画の上映、地域の秘伝の味の披露の場など、地域が「輝く」さまざまな場面に活用されています。



各種体験教室、地域づくり連続講座、コンサートなど地域の人たちとさまざまなイベント実施中

川口5000人のきずな物語



書籍化されました。各施設で好評販売中です。

館内のiPadでご覧になれます。随時更新中！

震災から復興へと立ち向かうなかで、川口に生きる5,000人の心を支えたのは多くの「絆」でした。被災を通して、人と人が触れ合うことで生まれた、いくつもの物語。一人ひとりの心の中に芽生えた感謝の気持ちと大切な想いを手紙に記すことで、次の世代の川口に残していく取り組み、それが「川口5000人のきずな」です。

やまこし復興交流館 おらたる

原風景の再生と地域の持続可能性の獲得を目的とした山の暮らし再生支援拠点。甚大な被害のため、全村避難を余儀なくされた山古志。それでも「帰ろう山古志へ」のスローガンのもと、帰村をはたした人たちの暮らしがここにあります。



展示スペース



当時の記録写真と、関係者の証言であの日を振り返ります。



地形模型シアター

中越大地震の被害状況の概要と、全村避難せざるを得なかったこと、そして無人となった村で行われたことを上空から眺めるイメージでご覧いただけます。プロジェクションマッピングの手法をつかった映像は必見です。



交流スペース



地域みなさんや来訪者のみなさんから利用いただく交流スペースを用意。

妙見メモリアルパーク

中越メモリアル回廊 3メモリアルパーク

「祈りの公園」

92時間の奇跡の救出劇の現場であり、母娘がなくなった現場でもあります。追悼の祈りをささげる場として、震災の象徴的な場所として整備・維持保存。



幅250mの大崩落で走行中の車4台が巻き込まれました。



母娘が犠牲となりましたが、男児が92時間ぶりに生還。（東京消防庁提供）



公園内には献花台が常設されています。

木籠メモリアルパーク

「記憶の公園」

旧山古志村木籠（こごも）集落には河道閉塞により水没した家屋が今に残っています。社会的関心の風化を防ぐため、メモリアルパークとして整備しています。



河道閉塞により水没していく集落



現在も水没した家屋当時のまま残っています。



地元木籠集落の拠り所、交流の場として整備された郷見庵

震央メモリアルパーク

「はじまりの公園」

GPSで特定された最大震度7を記録した本震の震源地を保存。周辺は遊歩道や展望台などが整備されています。



震源地は北緯37度17.5±0.3分、東経138度52.0±0.4分、深さ13±2km



2代目の標柱が現在の場所に設置され、初代は川口きずな館で保管されています。



地元の方が当時のお話をしてくれます。

